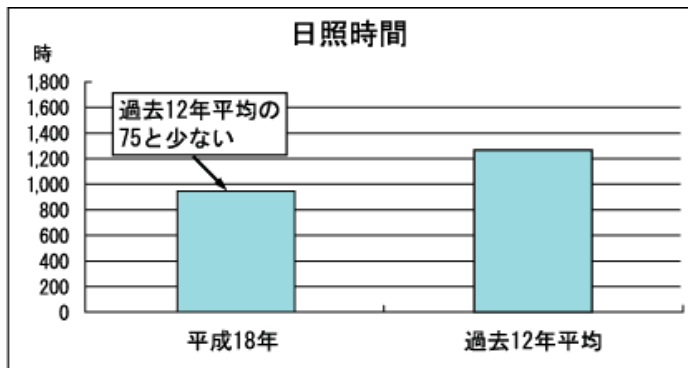


日照量不足下でのけい酸加里の水稲に対する効果

水稲栽培の日照不足は、生育に大きな悪影響を与えます。
2006年の山形県は、幼形期から出穂期にかけて日照不足で、生育量・収量レベルが平年より1割程度少ない条件での試験でした。

山形県庄内地区における積算日射量条件



注：積算日射量 MJ' -29～+38

(出穂日前 29 日～出穂後 38 日間の測定値)

試験方法

試験場所：場内(細粒強グライ土)
品 種：はえぬき
窒 素：基肥+追肥 6+2(kg/10a)
けい酸資材：基肥、全層施肥

試験区	現物施肥量	けい酸
	kg/10a	kg/10a
対照区	0	0
けいカル区	120	36
けい酸加里区	40	12

成 績

区	精玄米重 g/m ² (指数)	籾数 m ² *100	穂数 本/m ²	千粒重 g	タンパク %
対照区	482(100)	251	419	21.7	7.1
けいカル区	504(105)	257	411	21.8	7.2
けい酸加里区	528(110)	276	420	22	7.2

このような異常天候下でも、けい酸加里区では、収量や品質面でも健全に生育しました。
けいカル区に比べて、施肥したけい酸(SiO₂)量は3分の1ですが、同等以上の生育を示しています。